

東紀州では 2 年ぶりの水福連携の取組み

東紀州では平成 26 年度から、養殖ヒロメの乾燥品製造において水福連携¹⁾の取組みが行われ、現時点ではこれが東紀州地域で唯一の水福連携です。この連携ではエフティアクア有限責任事業組合（尾鷲市古江町。以下、エフティアクア）が養殖・摘採を、指定就労支援 A 型事業所の(株)やきやまふぁーむ（同市三木里町）が掃除・乾燥・袋詰めを行います



新鮮なヒロメを丁寧に洗います。



(株)やきやまふぁーむのビニールハウス内で乾燥させます。

今年の取組みは 2 月 19 日（月）に始まり、週 2 回、3 週間にわたり行われます。昨年は養殖ヒロメが不漁のため連携ができませんでした。この日は 2 年ぶりの作業にも関わらず、指導員と施設利用者はスムーズに作業できました。普段とは違う作業を心待ちにしていた施設利用者もいて、やりがいを感じていただけたようです。

掃除から袋詰めまでを、福祉事業所が担うことで、エフティアクアは魚類養殖の投餌やヒロメ養殖ロープの片づけなどの作業に集中できます。また(株)やきやまふぁーむは短期間ですが仕事を確保できます。

また、現在、ヒロメの製品化以外でも連携できないかと、エフティアクアと(株)やきやまふぁーむは模索しています。

水副連携に関しては、尾鷲農林水産事務所 水産室 漁政課（TEL：0 5 9 7 - 2 3 - 3 5 1 2）、または三重県庁 水産資源・経営課 漁業経営班（TEL：0 5 9 - 2 2 4 - 2 6 0 6）へお問い合わせください。

1) 水福連携：

水産分野と福祉分野の連携のことで、三重県では障がい者の漁業への就労機会の拡大を促進しています。働く場所が少ない障害者の収入を増やし、高齢化が進む漁業や水産業の担い手確保にもつなげる試みです。